

春告げ鳥

4月、新年度スタートです。自然に恵まれたこの地に、春になると必ず来てくれる鳥がいます。



エレベーターホール照明と天井の間に数年前から燕の巣があります。

春告げの代表は「鶯」ですが、「燕」にも春の訪れを感じます。田園調布旧駅舎中央横のエレベーターホール内天井に、燕の巣があり、壁に貼り紙があります。駅長さんのウイットにとんだ文面、野鳥の会のイラストに頬が緩みます。

宝来公園の池にも、運が良ければカルガモ親子の行進に出会えるでしょう。

(編集委員 三輪 順子)



武隈親方のお相撲教室

青少対田園調布地区講演会
2023年12月17日実施*

「青少年健全育成地区委員会等推進モデル」として、「武隈親方のお相撲教室」が東京都より選定されました。

地域社会、家庭、学校が連携し、青少年を地域ぐるみで健全に育成する優れた取組みを、東京都が指定するものです。

中高生を中心に構成されるジュニアリーダーが、企画の段階から参加し、講演会と体

験型イベントを実施するなどの工夫が評価されました。

*昨年度実施した企画に対し、今年度の推進モデルとして指定されたものです。

SDGs おおたスカイパートナー認定制度

田園調布地区自治会連合会は、本年1月、大田区より「SDGs おおたスカイパートナー」の認定を受けました。

これは、SDGs 達成に向けて取り組む事業者を「見える化」する制度で、区内98の事業者が認定されました。

わがまち情報 (4月～6月)

2025年度入学式

4月7日(月) 田園調布小・調布大塚小
4月8日(火) 田園調布中学校

4月27日(日) 多摩川園前商栄会・協和会
春のフリーマーケット(駅前通り)
(雨天の場合:5月11日(日))

6月6日(金)・7日(土)・8日(日)
浅間神社祭礼

6月(日時未定) 多摩川園前商栄会ほか
多摩川駅前花壇「花の植替え」



田園調布地区自治会連合会が授与されたSDGs おおたスカイパートナー認定証

数字で見る田園調布

	2025/1/1	2024/1/1
世帯数	10,782	10,619
人口[人]	21,697	21,554
男性	10,052	9,965
女性	11,645	11,586

人口動態は年1回 4月号に掲載します

子どもたちの川柳

田園調布中学校二年生が
国語の時間に創作した川柳から

まだセーフ 二度寝 三度寝 だい遅刻
山田虎之介

ゲームして ストレスたまり またゲーム
寺井 直純

どこだっけ 失くす消しゴム 手の中に
土田あやめ

編集後記

本号記事で興味深いのは2面「田園調布百周年記念郷土誌」に関連する9町内会の会長による座談会です。

75周年を記念して発刊された時から25年を経て発刊される内容は、少子高齢化、世代間のコミュニケーションギャップ、共稼ぎ世代の増加による地域への関わり方の希薄化などの社会構造の変化や災害への対応などを反映した興味深い内容になることと思います。

今や9町内会を擁する「田園調布」をどう育てていくのか、同時に今後の町会が抱える課題にどう対応していくのかは、町内会のみならず地域住民の協力と努力が必要であると痛感した次第です。(編集委員 三島通利)

でんえんわがまちのHP

(全頁 カラーで見られます)



令和7年4月
April, 2025
季刊 Quarterly

でんえん

Mytown Den-en-chofu わがまち

発行 地域力推進
田園調布地区委員会
編集 でんえんわがまち編集委員会
事務局 田園調布特別出張所
大田区田園調布1-30-1
TEL 03-3721-4261
http://www.city.ota.tokyo.jp/

第17回

田園調布グリーンフェスタ

2025年2月16日(日)10時～15時
田園調布せせらぎ公園, せせらぎ館



春のような陽気の下、芝生広場では「ふわふわ遊具」の順番待ちの列が絶えません

17回目を迎えた田園調布グリーンフェスタ、今回はせせらぎ館の体育施設の完成を待って真冬2月の開催となりました。最高気温16.9℃、4月並みの暖かさの日、盛大に催されました。

通称:せせらぎアリーナ(体育施設)にて鈴木晶雅区長を来賓として迎えた開会式の後、アースフレンズBM選手・監督宮崎大輔氏指導の下「ハンドボール体験イベント」が行われました。町会対抗「パターゴルフ」・「ポッチャ」の白熱の試合が行われました。

芝生広場にて

「ペットの里親探し」では協力団体が連れてきたペットの里親が決まった例もあるようです。芝生広場では「ふわふわ遊具」が特に人気で、一度に数十人の子供たちがエア遊具内で走り回り飛び跳ねたり。順番待ちの行列が途切れません。

せせらぎ館にて

「田園調布中プラスバンド」は、今回もクレフ・プラス・クワイヤとの合同コンサート。「スポーツ吹き矢」、「輪投

げ」、「手作り手芸品販売」、「お絵かきイベント」等、各自治会町会の趣向あふれる催し物で楽しめました。

小学生以下の子ども達には、「スタンプラリー」で3箇所の企画を回ってスタンプを集めればお菓子のプレゼントが。喜ぶ子ども達の笑顔を見ると、スタッフの疲れも癒されました。(編集委員 稲垣 芳隆)



「ハンドボール体験」では、柔軟体操、動体視力の強化など、準備体操を十分行った上で、パスなどの実習体験を行いました。



小学2年以下対象の「お絵かきイベント」



「手作り手芸品販売」の一例。右の人は形は洗濯ばさみに、絵柄の靴下をかぶせたもの

浅間神社の祭礼

2025年6月7日(土)・8日(日)

今年の浅間神社の神幸祭では、大神輿が田園調布地区を巡行します。コロナ禍の影響で6年のブランクは大きく、準備は例年より早く行っています。

2月の実行委員会では、神輿巡行のコース一部変更が提案されました。神酒所の一部減少に加え、神輿にとって危険な急坂の下りを避ける「安全第一」に徹する予定です。

各町会・団体でも役員の高齢化対策と、神輿の担ぎ手確保に取組んでいます。



巡行後半のコース変更が検討されました。急な富士見坂を通らないコースになります。

変更された巡行コース

一般社団法人 田園調布会は本年、創立 100 年を迎えます。これを記念して「記念祝賀会の開催」及び「記念郷土誌の発行」を計画しています。(関連記事 本誌 第 133 号, 第 136 号)



田園調布9町会による座談会 (2024 年 9 月 18 日、田園調布会館にて)

「記念郷土誌」は創立 75 年記念誌に続くもので、それ以降の 25 年、社会や環境の大きな変化、新型コロナウイルス感染症によるパンデミックなどの激動の時代を経た田園調布の今、そしてこれからの 100 年を展望する 1 冊となる予定です。

本稿では、記念誌掲載予定の田園調布地区 9 町会の会長による座談会の一部をご紹介します。

【町会の加入率低下と高齢化】

司会 自治会、町会への加入率ですが、田園調布会は 4 割と加入率の低さに苦労しています。

古田中 「向こう 3 軒両隣」が機能していないと自治会、町会への加入は難しいですね。

岡部 調布大塚自治会は 1800 世帯位の半分強 1000 世帯が加入しています。しかしマンションの増加などの課題があります。

伊藤 清交会は 4 割がマンションですが 1800 世帯中半数の 930 世帯が加入しています。

高木 加入率低下と同時に町会役員の高齢化も課題です。

【地域の若者離れ】

古尾谷 PTA や青少年対策委員会を担ってきましたが、現在の田園調布中学校には 1 学年 2 クラスしかないことは深刻な問題と考えています。理由は土地が高く若い人が住みにくいいためなどです。

出口 商店街でも様々な理由から、子息が商店を継がない傾向が見られますね。

【自治会、町会業務の効率化】

大高 区報や町会報はどのように配っていますか？

稲垣 一丁目東自治会は戸数約 1600 で会員数は 700 弱です。それを約 80 の組に分け事務員が各組に配っています。結構大変な作業になります。

出口 協和会では区報を区による各家庭に直接ポスティングにしましたので手数が省けました。

司会 行政から各町会への要請事項が多いという状況もあります。加入率の低さは情報伝達機能に影響を及ぼしていますか？

岡部 区報は全世帯に配布するよう要請されていますが、非会員を把握していないので厳しい

- 【出席者】
- 古田中 武彦 田園調布親和会会長
 - 岡部 俊介 調布大塚自治会会長
 - 稲垣 芳隆 田園調布一丁目東自治会会長
 - 伊藤 輝夫 田園調布一丁目清交会会長
 - 古尾谷 誠一 田園調布親睦会会長
 - 高木 知常 田園調布二丁目自治会会長
 - 落合 稔 田園調布西町会会長
 - 出口 清孝 田園調布協和会会長
一般社団法人田園調布会会長
 - 大高 英昭 田園調布会副会長
 - 齋藤 巖 田園調布会副会長
 - 松田 等 田園調布会副会長 (司会)

ですね。
落合 西町会では全世帯に配っています。

出口 伝達手段がアナログ的な方法だけでなく、他の方法も考えなくてはなりません。

古尾谷 私は逆に古臭くても昭和のやり方でやらないと近所付き合いは出来ないと思います。

大高 例えば、赤十字の寄付金など、寄付者を増やそうとしたら、かなり努力をしなければなりません。そういう手間は結構大変ですね。

【災害に備えるまちづくり】

大高 地震はいつ起きてもおかしくないのですが、災害時、電柱が倒れて復旧を妨げる等の問題があります。その対策の一つが電柱の地中化です。

落合 道路の共同溝というものもありますね。水道、電話などはあるのですが、電気が入っていないのでうまく活用できれば良いですね。

大高 地中化は 1km 工事するのに 5 億円以上のお金がかかるので、9 町会が連帯して区道については行政に要望を出し続けたいといけません。

(一般社団法人 田園調布会 松田 等)

続 ICT を利用した分かりやすい授業 田園調布中学校の場合 学びの継続、 そしてより質の高い授業へ

ICT の活用は大きく分けると、生徒がタブレットで学習すること、教員が電子黒板(モニター)にデジタル教科書などを表示することになります。

コロナ禍のリモート授業

コロナ禍において、タブレットを活用して、学びの継続が掲げられ、かなりの短時間に教育 DX が進みました。リモート授業でも学びを継続できたということは、教員にとって自信にもなりましたし、授業そのものの見直しにもなりました。

リモート授業では、教室での対面授業で発言するように、タブレットで入力してもらいました。すると普段あまり発言しない生徒がタブレットではコメントしている、そんな場面が多く見られました。そのコメントは、その都度データで残るので、授業後に公平に評価する材料にもなるのです。

教員に求められるのは、発言を受けとめて、授業を展開する力

大田区で活用している「ムーブノート」と「オクリンクプラス」は、生徒がタブレットにコメントして、それを授業で教員が受けとめて展開することがしやすいアプリです。このようなアプリの基本的な構造としては、授業の参加者が提出したコメントが一覧になるのが特徴です。

授業のどの過程でコメントさせるのか、そのワークシートを生徒の実態に応じて設計できると、より主体的・対話的で深い学びを実現する授業になります。

心理的安全性を保たれる環境作りも ICT 機器の役割

電子黒板にデジタル教科書を表示するメリットは、教科書のどこの説明をしているのか、こ

社会科の授業：

前面の電子黒板にはムーブノートのコメントを映し出している。



れから何を考えようとしているのかが、生徒にわかりやすくなっていることにあります。生徒を置き去りにしないためには効果的と言えるでしょう。

また「English 4skills」のようなドリル型のアプリは、自分のペースで学習でき、これも心理的安全性を保つのに有効です。

ICT 機器の活用で増加する考える機会

ICT で学習が楽になりすぎ、考える力がつかないのではと心配されることもあるかと思えます。しかし、タブレットを用い

て、実際にその場に出向いて取材したり、運動や演奏、作品を撮影したりして改善策を練るなど、考える機会は増えているのです。また VR や AR を駆使して実験したり、自分の作品を展示したりする試みも始まっています。

生徒たちの確かな学力の定着のために、教員は豊かな発想を持つ生徒に常にフィードバックしていかなくてはなりません。ICT の活用とともに、教員の指導力もアップデートを続けていきます。

(大田区立田園調布中学校 副校長 松尾 英治)

ある親と子の会話 ICT を用いた教育の現状と課題

現在田園調布中学 1 年の娘は、区から貸与されるクロムブック(グーグル社のノートパソコン)を学校で活用しています。

親 実際に理科の授業を見たけれど、先生が問題を出すとすぐに皆がパソコンで答えを送るのね。

娘 「ムーブノート」というアプリを使えば、生徒誰かの発言にみんながコメントを書いたりもできるの。手を挙げて発言するより早いし、みんなの意見がすぐわかって便利だよ。

親 昔でいう「ドリル」数学や英語の問題、地理の調べものも PC なのね。

娘 他にはクラスのアンケートをとるときにすぐ結果が出る。

親 親の心配は字を書かなくなることで、ネットで簡単に答えがわかってしまうこと、ね。「新年の抱負」を AI(人工知能チャット)に聞いて書いたでしょ(笑)

娘 ばれたか…(汗)。でも、小 3 からタブレットを使っているからタイピング能力は上がったし、自主的に調べる習慣もついたらよ。でも途中式は手で書く方が早いし、手書きの方がずっと便利だよ。

親 親の心配は無用か…。でも海外では子どものタブレットや SNS 使用を禁止する国もあるし、日本でも大人がしっかり見守らないとね。見てみて、これ、AI が作った「走れメロス」の要約だよ。変なところがあるのわかる？

娘 え…？実は読んだことなく、わからない…。

親 ね。そもそも要約を読んでも何も面白くないしね。だから自分でたくさん本を読んだり勉強しないとイケないのは、今も昔も一緒だよ。 (田園調布中学校 PTA 小島 佐和子)